

「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

事業名 消防団クラウド型車両端末装置の導入

自治体名

四日市市

消防団名

四日市市消防団

1 事業の目的

地域における消防力・防災力の向上に大きな役割を果たしている消防団について、ICT技術を活用した機器の整備を行い、消防団活動の円滑化を図る。

2 事業内容

消防団クラウド型車両端末装置を導入し、消防指令システムと連動して消防団車両に出動指令を送出する。
また、タブレット端末に災害地点、現場までの経路、消防水利などの情報を送付することで、消防団活動の円滑化を図る。
さらに、タブレット端末を活用して、各分団に災害情報などを一斉に送信することで、消防団活動の効率化を図る。



火災発生メール受信とUGOKUMON出動指令

2023Arcaia Inc. All rights reserved

3 事業成果

消防団活動の円滑化・効率化において、従来の連絡方法では、所属する分団の車両の位置が確認できず、一度車庫に寄ってから現場に向かう必要がありました。

システム導入後はスマートフォンで車両の位置が把握できるため、直接現場に向かう判断が可能となり、これにより、現場までの団員参集時間が短縮され、活動開始時点から十分な人員を確保でき、迅速性や安全性が向上しました。

団員の負担軽減に関しては、書類や報告の提出のために消防本部や管轄消防署・分署へ出向く必要がなくなり、時間の制約もなく報告できることが大きな負担軽減につながっているという声が挙がっています。

さらに今後は、円滑化・効率化・負担軽減の推進にあたり、オンライン研修を実施します。会場へ出向く必要がなく、分団車庫に集まるだけで多くの団員に対して研修が行えるため、効率的に負担軽減を図ることができます。

訓練や教育の効率化については、動画やデジタルマニュアルによる訓練教材の配信、オンライン研修やeラーニングの導入、訓練記録の電子化・管理が検討されています。

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
タブレット 配備	台	24	24	
説明会	回数	1	1	
取扱い訓練	回数	1	1	

